令和 6 年第 2 回定例組合議会（令和 6 年10月11日）

入間東部地区事務組合議会会議録

入間東部地区事務組合議会

令和6年第2回入間東部地区事務組合議会定例会会議録目次

招集告示	1
応招・不応招議員	2
議事日程（10月11日）	3
出席議員	3
欠席議員	4
本会議に職務のため出席した者の職氏名	4
地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	4
開会及び開議の宣告（午後 2時00分）	5
◎議会運営委員長の報告	5
日程第1 会議録署名議員の指名	6
日程第2 会期の決定	6
◎例月出納検査結果の報告	6
◎出席説明員の報告	6
日程第3 管理者あいさつ	6
日程第4 議案審議	8
◎第13号議案 専決処分の承認を求めることについて	8
◎第14号議案 令和6年度入間東部地区事務組合一般会計補正予算（第3号）	8
◎第15号議案 令和5年度入間東部地区事務組合一般会計歳入歳出決算の認定について	8
◎第16号議案 公平委員会委員の選任について	8
◎第17号議案 公平委員会委員の選任について	8
日程第5 閉会中の継続調査の申し出について	24
◎管理者あいさつ	24
閉会の宣告（午後 3時10分）	25
署名	27

入間東部地区事務組合告示第13号

令和6年第2回入間東部地区事務組合議会定例会を次のとおり招集する。

令和6年10月3日

入間東部地区事務組合管理者 高 畑 博

- 1 期日 令和6年10月11日（金）午後2時
- 2 場所 入間東部地区事務組合大講堂（4階）

○応招・不応招議員

応招議員（15名）

1番	佐野正幸	議員	2番	村元寛	議員
3番	前田広子	議員	4番	原田雄一	議員
5番	本名洋	議員	6番	小松伸介	議員
7番	斉藤隆浩	議員	8番	篠田剛	議員
9番	島田和泉	議員	10番	山田敏夫	議員
11番	林善美	議員	12番	細田三恵	議員
13番	川畑勝弘	議員	14番	塚越洋一	議員
15番	久保健二	議員			

不応招議員（なし）

令和6年第2回入間東部地区事務組合議会定例会議事日程

令和6年10月11日（金）

午後2時 開 会

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定

日程第 3 管理者あいさつ

日程第 4 議案審議

第13号議案 専決処分の承認を求めることについて

第14号議案 令和6年度入間東部地区事務組合一般会計補正予算（第3号）

第15号議案 令和5年度入間東部地区事務組合一般会計歳入歳出決算の認定について

第16号議案 公平委員会委員の選任について

第17号議案 公平委員会委員の選任について

日程第 5 閉会中の継続調査の申し出について

閉 会
議会議長

.....
△出席議員（15名）

1番	佐野正幸	議員	2番	村元寛	議員
3番	前田広子	議員	4番	原田雄一	議員
5番	本名洋	議員	6番	小松伸介	議員
7番	斉藤隆浩	議員	8番	篠田剛	議員
9番	島田和泉	議員	10番	山田敏夫	議員
11番	林善美	議員	12番	細田三恵	議員

13番 川畑勝弘 議員

14番 塚越洋一 議員

15番 久保健二 議員

△欠席議員 なし

△本会議に職務のため出席した者の職氏名

辻本貴徳

事務職員

新井良輔

事務職員

△地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

高畑博 管理者

星野光弘 副管理者

林伊佐雄 副管理者

玉田修 監査委員

工藤淳 会計管理者

宮寺和美 事務局長

高橋映治 次長兼
総務課長

中川一諭 消防長

上田安孝 次長兼
予防課長

石塚孝 消防総務課長

浦野哲也 警防課長

小嶋学 救急課長

長谷川義兼 指揮統制課長

関根敏行 西消防署長

大野一郎 東消防署長

△開会及び開議の宣告（午後 2時00分）

○山田敏夫議長 ただいまの出席議員は15人です。

議員の出席が定足数に達しておりますので、議会の成立を認め、ただいまから令和6年第2回入間東部地区事務組合議会定例会を開会いたします。

本日の会議を開きます。

◎議会運営委員長の報告

○山田敏夫議長 議会運営委員会の報告を求めます。

久保委員長。

○久保健二議会運営委員長 本日、午後1時30分より議会運営委員会を開催し、本定例会における議事運営及び令和6年度議員視察研修等について協議いたしましたので、ご報告申し上げます。

まず、本定例会における議事運営についてご報告いたします。

提出議案については、専決処分の承認、令和6年度一般会計補正予算（第3号）、令和5年度一般会計歳入歳出決算の認定、公平委員会委員の選任についての2件の合計5件でございます。

次に、一般質問及び資料請求等の提出はなかったことを確認いたしました。

また、会期については、執行部から提出議案の概要説明を受け、協議した結果、本日1日とすることに決定し、日程につきましては、お手元に配付されております議事日程（案）のとおりとすることに決定いたしましたので、お手数ですが、議事日程（案）を二重線等で消していただきたいと思っております。

なお、閉会中における継続調査の件について、議長宛てに申出を行うことに決定しました。

続きまして、令和6年度議員視察研修についてご報告いたします。今年度の研修地は、埼玉県鴻巣市にあります埼玉県消防学校を視察することとし、実施日は令和6年10月30日水曜日とすることに決定をいたしました。詳細につきましては、改めてご案内いたしますので、よろしく願いいたします。

以上、本定例会の運営が円滑に行われますよう皆様のご理解とご協力をお願いし、ご報告といたします。

○山田敏夫議長 ただいまの委員長報告に対し、質疑を受けます。

質疑のある方は順次発言をお願いします。

〔「なし」という声あり〕

○山田敏夫議長 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終了いたします。

以上で議会運営委員会の報告を終了します。

△日程第1 会議録署名議員の指名

○山田敏夫議長 日程第1，会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、4番・原田雄一議員，6番・小松伸介議員を指名いたします。

△日程第2 会期の決定

○山田敏夫議長 日程第2，会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は、本日1日にしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」という声あり〕

○山田敏夫議長 異議なしと認めます。

したがって、会期は本日1日と決定いたしました。

◎例月出納検査結果の報告

○山田敏夫議長 ここで、ご報告いたします。

例月出納検査の結果報告の写しはお手元に配付してあります。

◎出席説明員の報告

○山田敏夫議長 地方自治法第121条の規定による説明員は、お手元に配付しております説明員一覧表のとおりとなっておりますので、ご了承願います。

△日程第3 管理者あいさつ

○山田敏夫議長 日程第3，管理者あいさつを行います。

管理者。

○高畑 博管理者 皆様、こんにちは。開会に当たりましてご挨拶を申し上げます。

本日は、令和6年第2回定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様方にはご多用の中、ご健勝にてご出席を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、9月下旬に石川県能登地方におきまして、集中豪雨が発生しました。この影響で河川の氾濫や土砂崩れが相次ぎ、輪島市、珠洲市で多くの死者が発生し、現在も行方や安否不明者の捜索が進められております。被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

今年、宮崎県日向灘地震や台風第10号などの自然災害が相次いで発生し、今後もいつ発生するか分からないという状況にあります。消防力の強化をはじめ、地域防災力の中核となる消防団及び自主防災組織との連携をさらに強化し、引き続きあらゆる災害に迅速に対応してまいり所存でございます。

続きまして、組合事業についてご報告いたします。7月27日に埼玉県消防学校におきまして、第34回埼玉県消防ポンプ操法大会が県内64消防団から選抜された14隊が参加の下、盛大に開催されました。出場した三芳町消防団は、士気高揚と消防技術の向上を目指し、早朝や夜間など仕事以外の時間を操法の訓練に費やし、ご努力をいただきました。自らの地域は自ら守るという郷土愛護の精神で日頃の成果を遺憾なく発揮され、すばらしい成績を収められました。これからも消防団活動のさらなる充実を図り、住民の安全安心な生活のためご尽力いただきたいと思っております。

次に、消防行政関連についてご報告いたします。初めに、当組合管内の本年中の災害発生状況についてご報告させていただきます。火災件数でございますが、本年1月から9月末までに36件発生しており、昨年と比較して2件増加しております。18件発生した建物火災のうち全焼火災は4件で、火災による死者は発生していないものの、11名の方が負傷されております。このような火災による被害を未然に防ぐため、11月9日から15日まで実施されます秋の全国火災予防運動におきまして、住宅防火対策、地震火災対策を推進してまいります。

次に、救急件数でございますが、令和5年中の出動件数は1万5,274件を数え、過去最多を更新しました。本年は1月から9月末までに、既に1万2,004件を数え、昨年と比較しますと633件増加しております。このうち、熱中症の救急搬送件数は255件で、昨年と比較しますと12件増加しております。こうした中、令和7年度から新たに日勤救急隊を編成し、増加が著しい救急需要に的確に対応してまいります。

続きまして、衛生行政関連についてご報告いたします。初めに、しののめの里の利用状況でございますが、本年4月1日から9月末日までの火葬件数は1,901件、式場利用件数は262件と前年同期と同程度の利用件数となっております。引き続き、指定管理者と連携を図りながら、皆様が安心してご利用いただけるよう施設運営を行ってまいります。

次に、浄化センターにおける処理量の状況でございますが、本年4月1日から9月末日までの搬入量は4,328キロリットルと前年同期と同程度であり、安定した処理を行っております。引き続き、構成市町環境課と連携を図りながら、衛生的な生活環境の確保のため、適切な施設管理に努めてまいります。

結びに、本定例会に提案をしております案件は、議案5件でございます。それぞれご審議の上、ご可決賜りますようお願い申し上げまして、開会に当たりましての挨拶とさせていただきます。

△日程第4 議案審議

◎第13号議案 専決処分の承認を求めることについて

◎第14号議案 令和6年度入間東部地区事務組合一般会計補正予算（第3号）

◎第15号議案 令和5年度入間東部地区事務組合一般会計歳入歳出決算の認定について

◎第16号議案 公平委員会委員の選任について

◎第17号議案 公平委員会委員の選任について

○山田敏夫議長 日程第4，議案審議を行います。

これより本定例会に提出されました議案の上程を行います。

職員に議案名を朗読させます。

○辻本貴徳事務職員 （議案名朗読）

○山田敏夫議長 以上，議案5件を上程いたします。

これより管理者から提案理由の説明を求めます。

管理者。

○高畑 博管理者 それでは，本定例会に提出させていただきました議案の提案理由を申し上げます。

初めに，第13号議案 専決処分の承認を求めることについてでございますが，令和6年6月24日付でさいたま地方裁判所から当組合を被告とした訴状が送付されたことを受け，訴訟事務を委任する必要性が生じたため，令和6年度入間東部地区事務組合一般会計補正予算（第2号）を専決処分しましたので，地方自治法第179条第3項の規定により，提案するものでございます。

次に，第14号議案 令和6年度入間東部地区事務組合一般会計補正予算（第3号）でございますが，歳入歳出予算，債務負担行為及び地方債の補正をする必要性が生じたため，地方自治法第96条第1項第2号の規定により，提案するものでございます。

続きまして，第15号議案 令和5年度入間東部地区事務組合一般会計歳入歳出決算の認定についてでございますが，地方自治法第233条第3項の規定により，監査委員の意見をつけて議会の認定に付すものでございます。

最後に，第16号議案及び第17号議案 公平委員会委員の選任についてでございますが，任期満了となる清水秀朗氏と横山通夫氏を再度公平委員会委員に選任したく，地方公務員法第9条の2第2項及び地方自治法第96条第1項第15号の規定により，提案するものでございます。

提案理由は以上でございます。ご審議のほど，よろしくお願いいたします。

○山田敏夫議長 以上で議案の上程を終了いたします。

第13号議案 専決処分の承認を求めることについてを議題といたします。

担当者に議案内容について説明を求めます。

事務局長。

- 宮寺和美事務局長 第13号議案 専決処分の承認を求めることにつきましてご説明申し上げます。

本件は、令和6年6月24日付でさいたま地方裁判所から、当組合を被告として訴状が送付されたことを受け、訴訟事務を委任する必要性が生じたことに伴い、令和6年度入間東部地区事務組合一般会計補正予算（第2号）を専決処分したいので、承認を求めるものでございます。

補正の内容でございますが、補正予算書1ページを御覧ください。第1条において、歳入歳出それぞれ38万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ48億818万3,000円とするものでございます。補正の財源は繰越金を充てるものでございます。

次に、第2条として、債務負担行為の追加を行うものでございます。4ページを御覧ください。債務負担行為の事項といたしましては、安全配慮義務違反による損害賠償請求事件に係る事務委任、期間は、委任契約が終了するまでの年度となっております。

説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

- 山田敏夫議長 これより質疑に入ります。

質疑のある方は順次発言をお願いいたします。

〔「なし」という声あり〕

- 山田敏夫議長 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終了いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております第13号議案については、会議規則第37条第3項の規定により、委員会の付託を省略したいと思っておりますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」という声あり〕

- 山田敏夫議長 異議なしと認めます。

したがって、委員会の付託を省略することに決定いたしました。

これより討論に入ります。

討論のある方は順次発言をお願いします。

〔「なし」という声あり〕

- 山田敏夫議長 討論なしと認めます。

これをもって討論を終了いたします。

これより第13号議案を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

〔挙手全員〕

- 山田敏夫議長 挙手全員であります。

よって、第13号議案は原案のとおり可決されました。

第14号議案 令和6年度入間東部地区事務組合一般会計補正予算（第3号）を議題といたします。

担当者に議案内容について説明を求めます。

事務局長。

- 宮寺和美事務局長 第14号議案 令和6年度入間東部地区事務組合一般会計補正予算（第3号）につきましてご説明を申し上げます。

第14号議案を御覧ください。第1条として、歳入歳出それぞれ9,559万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ49億377万7,000円とするものでございます。補正の財源は繰越金で1,219万4,000円、組合債で8,340万円を充てるものでございます。

次に、第2条として、債務負担行為の追加を行うものでございます。4ページを御覧ください。債務負担行為の事項といたしましては、司令車賃貸借、災害用バス賃貸借の2件となっております。期間につきましては、令和14年度までとしております。

次に、第3表として、地方債の追加及び変更を行うものでございます。5ページを御覧ください。消防訓練場ヘリポート改修事業として8,120万円を追加し、消防庁舎空調設備更新事業として限度額を7,150万円から7,370万円に変更するものでございます。

補正の内容についてご説明を申し上げます。恐れ入りますが、参考資料2の令和6年度入間東部地区事務組合一般会計補正予算（第3号）概要を御覧ください。

（2）の歳入の内容につきましてご説明いたします。まず、ア、繰越金でございますが、前年度の繰越金の確定額のうち1,219万4,000円を歳出予算補正の財源にすることによる補正となっております。イ、組合債8,340万円でございますが、空調設備改修工事の増額及び消防訓練場ヘリポート改修工事の財源とすることによる補正となっております。

次に、（3）の歳出の内容についてご説明申し上げます。エの消防施設費につきましては、三芳分署の自動火災報知設備受信機交換修繕60万5,000円、消防訓練場ヘリポート改修工事監理業務委託料267万3,000円、空調設備改修工事227万7,000円、消防訓練場ヘリポート改修工事7,861万8,100円、排水圧送管移設工事1,037万3,000円を行うための補正となっております。

説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

- 山田敏夫議長 それでは、質疑のある方は順次発言をお願いいたします。

〔「なし」という声あり〕

- 山田敏夫議長 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終了いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております第14号議案については、会議規則第37条第3項の規定により、委員会の付託を省略したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」という声あり〕

○山田敏夫議長 異議なしと認めます。

したがって、委員会の付託を省略することに決定いたしました。

これより討論に入ります。

討論のある方は順次発言をお願いいたします。

〔「なし」という声あり〕

○山田敏夫議長 討論なしと認めます。

これをもって討論を終了いたします。

これより第14号議案を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

〔挙手全員〕

○山田敏夫議長 挙手全員であります。

よって、第14号議案は原案のとおり可決されました。

第15号議案 令和5年度入間東部地区事務組合一般会計歳入歳出決算の認定についてを議題といたします。

初めに、監査委員の決算審査報告を求めます。

玉田代表監査委員。

○玉田 修監査委員 代表監査委員の玉田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、令和5年度入間東部地区事務組合一般会計歳入歳出決算審査結果についてご報告申し上げます。

令和6年7月18日付で管理者から送付されました令和5年度入間東部地区事務組合一般会計歳入歳出決算書につきまして、去る7月29日に証拠書類及び関係書類等の照合を行い、併せて関係職員から説明を聴取し、予算が適正に執行されているかを主眼に審査を実施いたしました。

その結果、いずれも関係法令に基づき作成されており、計数に誤りはなく、予算執行及び会計事務も適正であることを認めました。

決算審査の概要と意見につきましては、お手元の一般会計決算審査意見書のとおりでございます。

以上で報告を終わります。よろしくお願いいたします。

○山田敏夫議長 ただいまの監査委員の報告に対し質疑をお受けいたします。

〔「なし」という声あり〕

○山田敏夫議長 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終了いたします。

次に、決算内容について担当者より説明を求めます。

事務局長。

○宮寺和美事務局長 第15号議案 令和5年度入間東部地区事務組合一般会計歳入歳出決算の認定についてご説明申し上げます。

参考資料の3の令和5年度入間東部地区事務組合一般会計歳入歳出決算概要によりご説明させていただきます。恐れ入りますが、参考資料3を御覧ください。

まず初めに、1の決算概要でございますが、令和5年度決算額は、歳入総額が前年度比5億2,955万8,802円減の40億5,574万9,685円となり、歳出総額は前年度比5億8,194万2,614円減の38億2,792万8,745円となりました。翌年度へ繰り越すべき財源はありませんので、実質収支額は歳入総額から歳出総額を差し引いた2億2,782万940円となっております。歳入決算額が減額した主な要因は、「消防本部庁舎用地取得及び建設事業借換債（平成24年度分）」及び「消防本部庁舎建設事業借換債（平成25年度分）」の皆減等による組合債の減（6億9,940万円）で、歳出決算額が減額した主な要因は、消防庁舎空調設備改修工事に係る事業費が5,330万500円皆増したものの、令和4年度の支出に消防本部庁舎建設事業債借換えに係る償還金が含まれている影響から、消防公債費が6億9,883万6,240円減となったことによるものでございます。

次に、歳入決算の主な特徴について、ポイントを絞って説明させていただきます。初めに、

（1）分担金及び負担金の構成市町負担金について、人事院勧告の影響による人件費の増額及び物価高による各種事業の単価上昇等により前年度比1億6,177万6,000円増の34億8,112万7,000円となりました。歳入総額に占める負担金の割合は85.8%と歳入の大半を占めております。

各市町の負担金については、表のとおりとなっておりますので、ご参照いただければと思います。

次に、（2）使用料及び手数料の斎場使用料は、管外火葬件数の減少により、火葬場使用料は前年度比626万9,000円減の1億2,424万3,000円となり、葬儀式場使用料は前年度比5万円増の6,250万円となっております。また、し尿処理手数料は、公共下水道の普及等に伴い、前年度比30万6,000円減の328万1,400円となっております。

続いて、2ページを御覧ください。（3）財産収入でございますが、例年の財産収入のほかに、物品売払収入は常備消防車両3台、非常備消防車両2台及び衛生車両1台の売却により482万800円となっております。

次に、（４）組合債でございますが、常備消防分として車両購入、消防庁舎空調設備更新事業、消防指令システム及び消防無線システム更新事業、非常備消防分として車両購入の借入れを行っておりますが、それぞれ充当率、地方交付税措置の面で有利な起債メニューの活用や、長期かつ低利な借入れ先の選定を行っております。

次に、３の歳出決算の主な特徴につきまして、ポイントを絞って説明させていただきます。

初めに、款２総務費の一般管理費でございますが、事務局職員の給与費及び各種OA機器及びシステム費を支出しております。

次に、款３衛生費、し尿処理費でございますが、主なものとして浄化センター運転管理業務委託料及び下水道使用料相当額負担金を支出しております。

続いて、３ページを御覧ください。款３衛生費、斎場管理費でございますが、毎年行っている火葬炉設備修繕及びしののめの里指定管理料を支出しております。

次に、消防に係る経費でございますが、款４消防費、消防管理費につきましては、再任用職員９名を含めた296名の職員給与費として19億3,853万893円を支出しております。

次に、警防費でございますが、消防車両等更新計画に基づき、ふじみ野分署に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車１台、富士見分署に災害対応特殊救急自動車１台、消防本部指揮統制課に指揮車１台を購入し、配備しております。

４ページを御覧ください。指揮統制費につきましては、設置から12年を経過するため、消防指令システム及び消防無線システム更新を実施するための実施設計業務委託を実施しております。

消防施設費でございますが、三芳分署空調設備改修に係る設計業務委託及び監理・工事を実施しております。

５ページを御覧ください。非常備消防費でございますが、三芳町消防団第３分団車両更新を行っております。款５公債費、衛生公債費はしののめの里事業債が完済したため、減額となっております。

説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

- 山田敏夫議長 これより質疑に入りますが、質疑の方法については、申し合わせ事項により、歳入及び歳出はそれぞれ一括で質疑を行います。なお、質疑に当たっては、決算書のページ数や予算科目を示してから質疑を行うようお願いいたします。

まず、歳入の質疑を受けます。

質疑のある方は順次発言をお願いいたします。

〔「なし」という声あり〕

- 山田敏夫議長 質疑なしと認めます。

これをもって歳入の質疑を終了いたします。

続いて、歳出の質疑を受けます。

質疑のある方は順次発言をお願いいたします。

本名洋議員。

- 5番本名 洋議員 5番，本名です。決算書の22ページになります。

中ほどになりますが，12の委託料で，真ん中辺で職員メンタルヘルス相談業務委託料とありますけれども，消防・救急現場大変な心理的負担，あるいはコロナの期間はさらに様々なストレスがあったと思います。コロナは5類に変わったとはいえ，引き続き油断のならない状況は続いていたと思います。

そのような中で，職員メンタルヘルスについては，業務委託のところで相談件数あるいは相談状況等をお伺いできればと思います。

- 山田敏夫議長 事務局長。

- 宮寺和美事務局長 令和5年度の職員メンタルヘルス総合業務委託料につきまして，1時間の相談が2回，30分の相談が8回ございました。

以上でございます。

- 山田敏夫議長 本名洋議員。

- 5番本名 洋議員 本名です。1時間が2回，30分が8回ということで，これは延べ回数かと思うのですが，人数でいうとどのような状況なのでしょうか。

- 山田敏夫議長 事務局長。

- 宮寺和美事務局長 人数につきましては2人でございます。

- 山田敏夫議長 本名洋議員。

- 5番本名 洋議員 この相談で解決というのか，例えば医療機関につないだとか，前向きな方向に職員が回復するというのか，いい方向に進んだというふうに理解してよろしいのでしょうか。

- 山田敏夫議長 事務局長。

- 宮寺和美事務局長 基本的には，もともと病気にかかっていた方が休職中とかでございますので，専門のメンタルヘルスの相談医と面談してその辺を確認していただいているような状況でございます。

- 山田敏夫議長 本名洋議員。

- 5番本名 洋議員 本名です。もう一点お伺いしたいと思います。

ページでいうと，決算書の32ページ，2の予防費のところで，節3職員手当で不用額が発生しております。これについては参考資料3，決算概要のところで触れております。3ページに災害現数の増加に伴い，秋季・春季住宅防火指導の実施対象件数，実施回数が減少し，不用額が159万1,030円となっていますというふうに示してあります。つまり，若干失礼な言

い方になるかもしれませんが、平たく言うと、災害が増えたおかげで、そちらに人員等を取られて、秋季・春季の火災予防の指導が十分にできなかったというふうに捉えられるのですけれども、その辺りの説明をお願いいたします。

○山田敏夫議長 予防課長。

○上田安孝次長兼予防課長 予防課長の上田です。これに対しまして、当直隊の非番隊が実施しております。どうしても朝方の災害になりますと、火災予防運動の住宅用火災警報器設置率調査ができなくなるため、手当が増えているのが現状です。

以上です。

○山田敏夫議長 本名洋議員。

○5番本名 洋議員 本名です。非番隊が実施したということで、実際には十分な効果、指導体制が取れたと、実施ができたというふうに捉えてよろしいのでしょうか。

○山田敏夫議長 予防課長。

○上田安孝次長兼予防課長 実施件数にあつては、計画の件数を実施している状態です。

以上です。

○山田敏夫議長 本名洋議員。

○5番本名 洋議員 本名です。ここにも災害件数の増加ということは書かれておりますけれども、近年、地球温暖化などで災害がこれまでにないような、想定できないような状況にもなっていると思います。あるいはこれまでも毎議会のように指摘させていただいておりますけれども、予防体制の人員の拡充ということを求めておりますけれども、やはり現状に対応した十分な職員体制の拡充も必要なのではないかと思うのですけれども、いかがでしょうか。

○山田敏夫議長 消防長。

○中川一諭消防長 お答え申し上げます。

当消防本部の消防力整備指針による充足率のうち、消防隊員と予防要員の充足率が低いということは承知しているところでございます。この消防隊員と予防要員につきましては、人員増ではなく隊員の教育及び訓練、また装備の充実を含めた総合力によって当面は現有の消防力で対応してまいりたいと考えているところでございます。

しかしながら、世の中の方向をしっかりと注視しながら、必要な消防力、増強とかさらに必要な場合は、そちらに向けて積極的に動いていこうと考えているところでございます。

○山田敏夫議長 本名洋議員。

○5番本名 洋議員 このあたりにつきましては、職員の定年延長に伴い、やはり消防の現場は非常に厳しい、若手職員の皆さんが頑張っているところで、定年延長になった職員の方々をどのように活用していくかというところが一つの課題になっているかと思っておりますけれども、防火予防、防火指導とかこういうところに職員を充てるとか、仕事を行ってもらおうというよ

うな、そういうようなお考えなのかどうかお伺いいたします。

○山田敏夫議長 消防長。

○中川一諭消防長 お答え申し上げます。

おっしゃるとおり、定年延長の職員につきましては、やはり体力的に非常に厳しい面がございます。基本的には、全職員が今後現場でも対応できるように、まずは基礎体力は維持してもらおうということが前提にはなりますが、そうした中であってもやはり基本的に消防訓練担当ですとか、予防査察を担当するような職員も必要ではありますので、そういったところにも振り分けていければいいのかなというふうに考えているところでございます。

以上です。

○山田敏夫議長 ほかに質疑はありませんか。

川畑勝弘議員。

○13番川畑勝弘議員 13番、川畑です。

今、職員の関係で総務管理、一般管理費になると思うのですが伺いたいのですが、今、消防長が先ほどおっしゃった充足率の関係なのですかけれども、これまでは消防力で対応していきたいとありました。この間に充足率が低いということでもずっと言っていたわけですが、一人一人限界があるわけで、少ない体制の中でやっているということが事実で、そういったところで充足率が足りないということを議論してきたかなというふうに思うわけですが、その点についてどのように検討してきたのか伺いたいと思います。

○山田敏夫議長 消防長。

○中川一諭消防長 お答え申し上げます。

おっしゃっているとおり、充足率の部分につきましては重々承知しているところでございまして、ただ消防本部といたしましては、先ほども申し上げましたとおり、まずは職員一人一人のスキルを向上させることで、それによって消防力を高めていくというところを主眼に体制を整えてきたところでございます。

以上です。

○山田敏夫議長 川畑勝弘議員。

○13番川畑勝弘議員 個々の職員の力量を高めるところになるのかなと思うのですが、それには限界があるのです。それはそれでいいですが、やはり充足率を高めるというところで、計画性をどういうふうに持って検討してきたのか。要は、先ほども本名議員からも話がありましたけれども、定年される方もいる。そういった中では、本当に限界に来ている、人口も増えているし、そこは全体でどのように考えてきたのかということをお伺いしたいと思います。

○山田敏夫議長 消防長。

○中川一諭消防長 お答え申し上げます。

私ども消防本部といたしましても、管内住民の生命と財産を守るために必要な消防力の提供につきましては、常に検討しているところでございまして、そうした中であって、昨年度は増加する救急需要に対応するために、救急隊の増隊を含めた消防職員定数の増員を図らせていただいたところでございます。

そういった中においては、救急隊、必要な部分についてはしっかりとまずご理解をいただいて、増員をさせていただいているということで、ご指摘のありました例えば消防隊員ですか予防要員の若干充足率が低い分については、繰り返しになって申し訳ないのですが、県内、全国的に見てもないようなすばらしい施設の提供をいただいておりますので、そういったことにおいて職員の能力をさらに高めていくというところ、それから予防要員が今充足率としては低いというところは皆さんご承知のとおりだと思っておりますが、そういったことであっても、消防年報を見ていただくと分かるのですけれども、立入検査の実施件数につきましては、昨年度は過去最高を記録しております。こういった部分に関しましては、主管課である予防課が積極的に中隊をバックアップして、現場で働いている消防隊員、それから救助隊員が積極的に予防業務に対応して行ってきた結果だということ、そういった努力をご理解いただければというふうに思っております。

以上です。

○山田敏夫議長 川畑勝弘議員。

○13番川畑勝弘議員 今話を伺うと、件数を予防で増やしてきたということでもありますけれども、それだけに今までにない、今の数の中でさらに件数を伸ばしたということは、作業量が増えたということにつながるというふうに思うわけです。そうすると、警防課や予防課、やはりその辺に足りないという、充足率を上げるというところが関わってくるのではないかなというふうに思うわけです。

消防長がおっしゃるように、増えたとなれば、仕事量が増えているわけですから、そこでやはり充足率を高めないといけないというところでは、職員を増やさないといけない、そういったところでの考えがあらうかというふうに思うわけです。その辺の検討してきた中身を伺えればと思います。

○山田敏夫議長 消防長。

○中川一諭消防長 お答え申し上げます。

職員の定数等につきましては、先ほどのご質問にも答えましたとおり、本年の第1回の定例議会におきまして、定年延長を含めた部分の中で、救急隊の増隊以外に17名の増員をさせていただいたところでございます。まずは、その人員増分を使いながら、消防力の充足が少しでも高まるようにしていきたいというふうに考えているところでございます。

以上です。

○山田敏夫議長 ほかに質疑はありませんか。

塚越洋一議員。

○14番塚越洋一議員 まず、総務費だけではないのですけれども、他のところもあるのですが研修費というのが22ページに載っていますけれども、他のところにも載っています。今の議論からもあるように、これから定年延長が順次進んでいく中で、令和5年度そして6年度、準備期間としての年度だったと思うのです。そういう点で、研修の中で職員のリスキリングが企業でも大事だと言われているのですけれども、これに向けての、とりわけ令和5年度に留意した点があればお話しいただければと思います。

○山田敏夫議長 消防長。

○中川一諭消防長 お答え申し上げます。

ご質問にございましたように、リスキリングの関係ですけれども、予算についての研修費の中で定年延長に係る部分に特化しているものはございません。しかしながら、第1回の定例会の際にもお話をさせていただきましたけれども、ここ数年で定年を迎える職員については、体力的にそれほど、現場よりも体力を使わないような部署に、60歳以前にまず配置をすることで、60歳以降、比較的体力を使わない部署において勤務していただくというところで、実際にそういった人事異動は始めているところであります。

○山田敏夫議長 塚越洋一議員。

○14番塚越洋一議員 現場からそうではないところに異動する、なかなか本人も大変だと思うのです。やっぱり60歳超えると、自分では足が上がっているつもりだけれども、つまづいたりするわけですね。特に現場は若い人でないと無理だというのはみんなよく分かっているところだと思います。

逆に、やはりリスキリングを計画的にやっていくことが重要であると思うのです。人事異動だけだとどのようにリスキリングして新たなところ例えば予防業務にしてもそれから消防訓練にしても、市民と関わるいろんな部署などは特に経験豊かな高齢の職員が向いてる分野ではないかなとは思っています。また、増え続ける高齢者社会の対応だってありますので、そういうものを含めて計画的な研修体制を構築するために、ただ異動して現場でやるというOJTだけでは難しいかなという感じはするのですけれども、OJT以外でこの本決算の中では、定年延長時代を迎える中の準備過程として何かあったのかなかったのか、もしないのだったらぜひ進めてほしいと思いますが、どうですか。

○山田敏夫議長 消防長。

○中川一諭消防長 お答え申し上げます。

今回の決算の中には定年延長に係るものは、特に組んでおりません。今、ご質問にご

ございましたリスクリングの部分につきましては、定年延長自体がまだここで始まったばかりの部分がございますので、私ども消防本部といたしましても、この調査研究をしてまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

○山田敏夫議長 塚越洋一議員。

○14番塚越洋一議員 状況がよくわかりましたので課題であるということを確認しておきます。

それから、26ページのところの小さな一行なのですけれども、この部分、北茨城市の一般廃棄物処理負担金というようなものが載っているのですが、このところについては現地状況の確認はどのようにされているのか。

○山田敏夫議長 事務局長。

○宮寺和美事務局長 年に1度、現地のほうに赴いて確認はしております。

○山田敏夫議長 塚越洋一議員。

○14番塚越洋一議員 処分場については現地の現況ですが、現地を管理しているのはどのようなセクターで管理しているのですか。

○山田敏夫議長 事務局長。

○宮寺和美事務局長 こちら最終処分場につきましては、民間企業になってございます。

○山田敏夫議長 塚越洋一議員。

○14番塚越洋一議員 民間企業になっていて、その民間企業に対するチェック体制をどういうふうに確立するのですか。

○山田敏夫議長 事務局長。

○宮寺和美事務局長 最終処分場は北茨城市のほうにございますが、民間の最終処分場をお持ちの会社は、北茨城市のほうにも水質検査の結果等を提出しておりますので、私たちも事前協議に1度伺いますが、そのときに民間の最終処分場の現状とかも確認しております。

○山田敏夫議長 塚越洋一議員。

○14番塚越洋一議員 どうもありがとうございます。

ということで、以前ふじみ野市でも苦い経験していますのでしっかり点検して問題ないように進めていただきたいと思います。

それから、28ページのところで指定管理者業務委託料というところがあるのです。これ指定管理業務については、再委託の状況について説明していただけますか。

○山田敏夫議長 事務局長。

○宮寺和美事務局長 ここで、5年度から今のグループの2期目の1年目ということになっております。再委託に関しましては、指定管理者のほうから協議文書をいただきまして、こういうことに関しては委託をお願いしたいというのをいただきまして、こちらのほうも協議して

回答をさせていただいております。

- 山田敏夫議長 塚越洋一議員。
- 14番塚越洋一議員 再委託の業務について簡単に教えてください。
- 山田敏夫議長 事務局長。
- 宮寺和美事務局長 外構の維持管理業務委託，環境衛生の管理業務，警備の業務委託，環境測定業務等がございます。
- 山田敏夫議長 塚越洋一議員。
- 14番塚越洋一議員 外構関係というところから環境関係これは排出する，空気などをですね。あとは警備ということですね。炉については全部直営ということではよろしいのですか。
- 山田敏夫議長 事務局長。
- 宮寺和美事務局長 炉のほうにつきましては，指定管理者直営でやってございます。
- 山田敏夫議長 塚越洋一議員。
- 14番塚越洋一議員 この業務についても廃棄物が出るとは思いますが，廃棄物の処理についての報告はどのように受けてチェックしていますか。
- 山田敏夫議長 事務局長。
- 宮寺和美事務局長 毎月1回モニタリングをしておりますが，そのときに報告を受けてございます。
- 山田敏夫議長 塚越洋一議員。
- 14番塚越洋一議員 どうもありがとうございます。モニタリングで報告を受けていると。全体として再委託については現地調査，いわゆる抜きうち調査も必要だと思うのですが，この点，令和5年度における実施状況をお答えいただきたいと思います。
- 山田敏夫議長 事務局長。
- 宮寺和美事務局長 毎月1回，現地のしののめの里のほうに行きまして，モニタリングをしておりますので，そのときには確認している状況でございます。
- 山田敏夫議長 塚越洋一議員。
- 14番塚越洋一議員 しっかり現場で実態をつかんで，おさえていただきたいと思います。
それと，あちこちに係る問題なのですけれども，管理者からあいさつであったように経験したことの少ないような土砂災害が起きたり，首都直下型の地震がいつおきるか分からない，災害多発時代に突入したとか，そういう中で各消防署の対応とか警防とか含めて，その大規模災害に対する対応を令和5年度の予算を執行していく中で，特に配慮して訓練してきたようなことがありましたら，ご紹介いただきたいと思います。
- 山田敏夫議長 消防長。
- 中川一諭消防長 お答え申し上げます。

大規模災害に関しましては、まずは消防署といたしましては、大規模災害活動指針というのを作成してございます。これは、常備消防と消防団両方とも作成しております。

そういった中におきまして、大規模災害についての備蓄等備えについてですけれども、まずは庁舎の電源確保につきましては、それぞれの庁舎、非常用発電機によりまして3日間の電源を確保しております。

次に、災害活動に欠かすことのできない車両等の燃料ですけれども、西消防署に設置してございます自家用給油取扱所で最大ガソリン7日分、軽油が5日分を確保しております。

続きまして、活動隊員の食料につきましては、これも予算において非常用災害食料として確保しております、消防署、消防団共に3日分を備蓄しております。

また、災害用トイレにつきましても消防職員分として3日分を用意してございます。

大規模災害の備えについては、以上でございます。

○山田敏夫議長 ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」という声あり〕

○山田敏夫議長 これをもって歳出の質疑を終了いたします。

以上で質疑を終了いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております第15号議案については、会議規則第37条第3項の規定により、委員会の付託を省略したいと思っておりますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」という声あり〕

○山田敏夫議長 異議なしと認めます。

したがって、委員会の付託を省略することに決定いたしました。

これより討論に入ります。

討論のある方は順次発言をお願いいたします。

塚越洋一議員。

○14番塚越洋一議員 令和5年度入間東部地区事務組合一般会計歳入歳出決算に賛成の立場で若干意見を述べておきます。

まず、令和5年度の1年間におきまして、関係職員一同、管内の市民の生命、財産を守るため、また環境を守るために日々頑張ってきたことに対して、心より敬意を表するものです。本当にご苦労様でございました。

さて、決算においては、1年間の事業、施策を点検評価して、次年度への課題を明らかにするという仕事がございます。そこで、幾つか意見を述べますと、まずは定年延長が始まるという予備段階の年度でございましたので、ぜひこの点については業務を通じての学びと、それから業務以外でちゃんと勉強会を開いて又はどこかに行って研修する等含めてリスクリング対策を一層強めることをお願いをしておきたいと思っております。

また同時に、事務職員の専門性を高める点につきましては、予算のときも申し上げましたが、DXの推進とか、それからまた契約法務、財務等のそれぞれの専門性が求められる時代になってまいりました。この点については、事務組合としての顧問弁護士等の配置もそろそろ検討する段階になるのではないかなと思いますので、指摘をしておきたいと思います。

それから、首都直下型地震だとかスーパー台風や線状降水帯、こういうとんでもない災害はいつ起きるか分かりません。そこで、特に水防活動については、本当はないほうがいいのですけれども、これも本決算踏まえて次の課題として押さえておいていただきたいと思います。

それから、地域の高齢化とか、独り世帯が増えているという部分で、地域の自主防災組織との日常的連携、この辺を予防活動や警防活動の中でぜひ位置づけていただいて、事業計画の中で連携を決算を踏まえて次年度に生かしていただければと思います。

活動指針ができているということだったので、安心したのですけれども、ぜひこの充実も含めてお願いしておきたいと思います。

それから、全体として、これも予算のときにも話したのですが、やはり構成団体では中長期計画をつくって、そして3か年実施計画のローリングをやっていますので、ぜひ事務組合におきましても、計画行政の体系的充実の確立、これをこの決算を踏まえての課題としてぜひ位置づけていただきたいと思います。

以上申し上げまして、賛成討論といたします。

○山田敏夫議長 ほかに討論はありませんか。

〔「なし」という声あり〕

○山田敏夫議長 これをもって討論を終了いたします。

これより第15号議案を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

〔挙手全員〕

○山田敏夫議長 挙手全員であります。

よって、第15号議案は原案のとおり認定することに決定いたしました。

第16号議案 公平委員会委員の選任についてを議題といたします。

担当者に議案内容について説明を求めます。

事務局長。

○宮寺和美事務局長 第16号議案 公平委員会委員の選任につきましてご説明申し上げます。

公平委員会委員は、構成市町から1名ずつご推薦をいただき、選任しているところがございますが、このたび、ふじみ野市推薦委員の清水秀朗委員が令和6年11月25日をもって任期満了となるため、再度同氏を公平委員会委員として選任したいので、議会の同意を受けよう

とするものでございます。

清水氏の経歴につきましては、参考資料5のとおりでございます。

説明は以上となります。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○山田敏夫議長 これより質疑に入ります。

質疑のある方は順次発言をお願いします。

〔「なし」という声あり〕

○山田敏夫議長 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終了いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております第16号議案については、会議規則第37条第3項の規定により、委員会の付託を省略したいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」という声あり〕

○山田敏夫議長 異議なしと認めます。

したがって、委員会の付託を省略することに決定いたしました。

本件は、人事に関する案件でありますので、先例により討論を省略し、直ちに採決を行います。

これより第16号議案を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

〔挙手全員〕

○山田敏夫議長 挙手全員であります。

よって、第16号議案は原案のとおり可決されました。

第17号議案 公平委員会委員の選任についてを議題といたします。

担当者に議案内容について説明を求めます。

事務局。

○宮寺和美事務局長 第17号議案 公平委員会委員の選任につきましてご説明申し上げます。

公平委員会委員は、構成市町から1名ずつご推薦をいただき、選任しているところでございますが、このたび、三芳町推薦委員の横山通夫委員が令和6年11月25日をもって任期満了となるため、再度同氏を公平委員会委員として選任したいので、議会の同意を受けようとするものでございます。

横山氏の経歴につきましては、参考資料6のとおりでございます。

説明は以上となります。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○山田敏夫議長 これより質疑に入ります。

質疑のある方は順次発言をお願いします。

〔「なし」という声あり〕

○山田敏夫議長 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終了いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております第17号議案については、会議規則第37条第3項の規定により、委員会の付託を省略したいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」という声あり〕

○山田敏夫議長 異議なしと認めます。

したがって、委員会の付託を省略することに決定いたしました。

本件は、人事に関する案件でありますので、先例により討論を省略し、直ちに採決を行います。

これより第17号議案を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

〔挙手全員〕

○山田敏夫議長 挙手全員であります。

よって、第17号議案は原案のとおり可決されました。

△日程第5 閉会中の継続調査の申し出について

○山田敏夫議長 日程第5、閉会中の継続調査の申し出についてを議題といたします。

お諮りいたします。議会運営委員長から、会議規則第111条の規定により、次期議会の会期日程等の議会運営に関する事項並びに議長の諮問に関する事項について、閉会中の継続調査の申出がありました。委員長からの申出のとおり閉会中の継続調査とすることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」という声あり〕

○山田敏夫議長 異議なしと認めます。

したがって、委員長からの申出のとおり閉会中の継続調査とすることに決定いたしました。

◎管理者あいさつ

○山田敏夫議長 挨拶のため管理者から発言を求められておりますので、これを許可します。

管理者。

○高畑 博管理者 閉会に当たりまして、ご挨拶を申し上げます。

議員の皆様におかれましては、ご提案申し上げました議案に対しまして、慎重にご審議をいただき、それぞれご可決を賜り、誠にありがとうございました。

今後におきましても管内における住民の安全安心と衛生的な生活環境の確保を図るため、職員一丸となり業務に邁進してまいります所存でございます。

議員の皆様におかれましては、くれぐれも健康に留意され、さらにご活躍されますことをご祈念申し上げまして、閉会に当たりましての挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

.....

△閉会の宣告（午後 3時10分）

○山田敏夫議長 お諮りいたします。

本定例会の会議に付議された事件は全て終了いたしました。よって、会議規則第8条の規定により閉会したいと思います。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」という声あり〕

○山田敏夫議長 異議なしと認めます。

したがって、本定例会は閉会することに決定いたしました。

これで本日の会議を閉じます。

これをもって令和6年第2回入間東部地区事務組合議会定例会を閉会いたします。

△署名

左記会議のてんまつは、書記長が記載したものであるが、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和6年10月11日

議長 山田敏夫

署名議員 原田雄一

署名議員 小松伸介